

印刷工場のゾーン空調

この工場では、特殊印刷をしており、天井の高い工場で印刷機の発熱などにより、室温が40℃以上となっていました。空調設備を新設するにあたり、氷蓄熱空調システムを採用しました。

天井の高さが8mもある空間での効果的な空調方式として、作業員が行動する範囲だけを空調する「ゾーン空調方式」を採用し、蒸し暑かった夏場の作業も快適になり、作業効率も上がっています。

また、吹出し口のスイング角度は30～120度の範囲で調節できると共にダクトレス空調であるため、省コスト・省エネと作業環境の改善が同時に達成できました。

改善効果

- 夜間への負荷移行により、電気料金が低減しました。
(約15万円/年)

設備概要

- 低圧蓄熱調整契約適用負荷12kW
氷蓄熱マルチ12kW×1台
- 氷蓄熱槽2.6m³

システム図

